

2026年2月4日

報道各位

株式会社いい生活

いい生活、オフィステナント管理のDXを推進する「いい生活 Tenant」をリリース

テナントとのコミュニケーションを円滑化し、管理業務の効率化と新たな収益機会の創出を実現

不動産業務を網羅するパーティカル SaaS と業務効率を推進する BPaaS (※1) で不動産市場のDXを推進する株式会社いい生活（東京都港区、代表取締役社長 CEO：前野 善一、東証スタンダード：3796、以下：いい生活）は、管理会社とテナント間のコミュニケーションアプリ『いい生活 Tenant』をリリースしたことをお知らせいたします。

■ 背景と課題

オフィステナント管理の現場において、管理会社とテナント間のコミュニケーションは電話やFAX、紙の掲示物といったアナログな手法が主流となっており、居住用不動産に比べDX化が遅れています。

管理会社側では、問い合わせ対応の属人化や情報伝達の遅延が常態化しており、煩雑な事務作業に追われることで、本来提供すべき付加価値サービスやアップセル・クロスセルといった収益機会の創出を妨げる要因となっています。

また、テナント側においても、設備トラブルの連絡や各種申請手続き（入館申請・作業届等）を管理会社の営業時間に合わせる必要があり、手続きの煩わしさや重要情報の見落としリスクが課題となっています。

このような背景から、当社はオフィステナント管理におけるコミュニケーションをデジタルで一元化し、双方の生産性向上と新たな収益機会の最大化を支援するため、『いい生活 Tenant』の提供を開始いたしました。

■ 期待される効果

『いい生活 Tenant』の導入により、管理業務のデジタル化を通じて以下の価値を創出します。

1. 業務効率化とペーパーレスの実現

管理会社側では、問い合わせの一元管理や申請業務のデジタル化により、事務工数を大幅に削減します。テナント側も、時間や場所を問わずスマホから各種申請や連絡が可能になり、電話やメールに費やしていた手間を最小化します。

2. コミュニケーションの質と満足度の向上

プッシュ通知の活用により、重要情報の確実かつ迅速な伝達を実現します。管理会社側は対応漏れや遅延を防止でき、テナント側はアプリ上で進捗ステータスをリアルタイムに確認できるため、双方の信頼関係と利便性が向上します。

3. 戦略的な収益機会の最大化

アプリを通じたターゲット配信により、貸会議室や清掃、関連セミナーといったサービスの案内を最適化します。管理会社にとっては効率的なアップセル・クロスセルの場となり、テナントにとっても自社に有益な提携サービスや優待情報をタイムリーに得られる機会が拡大します。

■ 今後の展望

『いい生活 Tenant』は、今後も段階的に機能を追加し、オフィステナント管理に関わるすべてのステークホルダーがより効率的に業務を行えるプラットフォームへと進化させていきます。

今後は、本サービスを事業用不動産管理業務を根本から変革するプラットフォームへと成長させるとともに、当社のサービス連携基盤である「いい生活 Square」との強力なシナジーを発揮し、不動産業界全体のDXをより一層強力で推進してまいります。

■ いい生活のセキュリティ対策

当社は、以下の3つの柱により、お客様のデータを「構造的」に守り続けています。

1. 構造的分離

当社のオフィス（社内環境）と、お客様のデータを管理するデータ金庫（SaaS環境）は「海を隔てた別の島」のように完全に分断されています。万が一、社内PCがウイルスに感染しても、SaaS環境への道を構造的に遮断しているため、二次感染を構造的に遮断しています。

2. ゼロトラスト（※2）

「誰も信用しない」ことを前提としたゼロトラストアーキテクチャを採用し、社内アクセスも空港の保安検査レベルで都度検証するモデルを採用しています。多要素認証（MFA）を徹底し、常に厳格な本人確認を実施しています。

3. クラウドネイティブ（※3）

RDP（遠隔操作）を利用する方式とは異なり、ブラウザやAPI通信による方式を一貫して採用しています。限定された指示データのみを通し、ウイルスの主要な感染経路となるドライブ共有等の仕組み自体が存在しないため、リスクを構造的に排除しています。

また、いい生活は、情報セキュリティ規格であるISO/IEC 27001（ISMS）をはじめ、クラウドセキュリティ規格であるISO/IEC 27017（ISMS-CLS）、ITサービスマネジメント規格であるISO/IEC 20000（ITSMS）の3つの国際認証を取得し、厳格な運用を続けています。

いい生活は、単なるソフトウェアベンダーではなく、お客様のビジネス継続性を最優先に考える戦略的パートナーとして、今後も「止まらない不動産実務基盤」を提供し続けます。

※1 BPaaS：Business Process as a Service の略でクラウド上で業務プロセスをアウトソーシングすること

※2 ゼロトラスト：「社内ネットワークだから安全」という従来の性善説を捨て、「すべてのアクセスを疑い、その都度検証する」という考え方

※3 クラウドネイティブ：既存のソフトウェアを単にクラウド上の「場所」に置くのではなく、「最初からクラウドで動くことを前提」に設計・構築されたシステムのこと

● 株式会社いい生活 会社概要 <https://www.e-seikatsu.info/>

いい生活は「テクノロジーと心で、たくさんのいい生活を」ミッションに掲げ、不動産業務クラウドサービス、不動産プラットフォームサービスを提供する不動産テック企業です。不動産市場の法改正やIT化に迅速柔軟に対応し、不動産業務を網羅するフルラインナップのSaaSで不動産市場のDXを推進しています。いい生活は、不動産市場に関連する企業はもちろん日本各地のエリアに寄り添ったソリューションで、「心地いいくらしが循環する、社会のしくみをつくる」ビジョン実現を目指します。

- 商号： 株式会社いい生活
- 所在地： 東京都港区南麻布五丁目2番32号 興和広尾ビル 3F
- 設立： 2000年1月21日
- 資本金： 628,411,540円（2025年3月末現在）
- 事業内容： 不動産市場向けSaaSの開発・提供

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社いい生活 マーケティング本部 広報部

TEL：03-5423-7836（平日9時～18時）

E-Mail：contact.pr@e-seikatsu.co.jp